

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 10 日現在

機関番号：32612

研究種目：国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B））

研究期間：2018～2022

課題番号：18KK0039

研究課題名（和文）代議制民主主義のガバナンスの国際比較研究

研究課題名（英文）An International Comparative Study of Governance in Representative Democracy

研究代表者

小林 良彰（Kobayashi, Yoshiaki）

慶應義塾大学・法学部（三田）・名誉教授

研究者番号：40153655

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,400,000円

研究成果の概要（和文）：シカゴ大学及びソウル大学と国際共同研究を行い、日本の全市・特別区の首長・議長・財政課長対象にFAUI調査を実施し高い回収率を得て、米国や韓国との国際比較だけでなく、地方分権一括法がもたらした政治文化の変容を明らかにした。また、当初計画を超えてNPC首長が市民のWell-Beingにもたらす効果を実証的に明らかにした。

さらに、当初計画を超えて地域文化特性に関する全国市民意識調査を実施し、米国等の研究者による国際研究グループに参加して自治体の人口移動に与える地域文化特性の計量分析を行なった。その結果、研究代表者及び研究分担者全員が国際学術誌に数多くの査読付論文を掲載する成果を挙げた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来、地方分権一括法施行に伴う自治体関係者の権限に関する研究が行なわれてきたが、住民意識に与える効果については十分とは言い難かった。本研究課題は、日本全国の自治体関係者（首長、議長、職員）及び住民に対する調査を実施し、米国や韓国との国際比較だけでなく、地方分権一括法がもたらした自治体ガバナンスの変容を実証的に明らかにした点、ならびに地域の経済変数で決まると考えられてきた人口転出入について、自治体の文化特性と住民意識の一致・不一致が要因となることを実証的に示した点で学術的意義がある。また、経済力が脆弱な自治体にも移住・定住を招き入れる多様な方策が可能であることを明確にした点で社会的意義がある。

研究成果の概要（英文）：In collaboration with professors from the University of Chicago and the Seoul National University, we conducted the FAUI survey as planned. The survey targeted mayors, councilors, and finance directors of all cities and special wards in Japan and obtained a high response rate. Based on the FAUI data, we conducted multivariate analysis for comparative studies with the United States and South Korea. We also compared it with similar survey results before to see how the political culture of Japanese local government heads has changed because of the act. We empirically demonstrated the effect of NPC mayors' types, which is one of the outcomes of the FAUI survey, on citizens' well-being.

Beyond the initial plan, we also conducted a survey targeting citizens nationwide to see the attitudes of regional cultural characteristics. In collaboration with an international research group, we carried out a quantitative analysis of regional cultural characteristics related to population movements.

研究分野：政治学

キーワード：政治学 地域文化特性 NPC

1. 研究開始当初の背景

民主主義は、政治学にとって永遠の研究課題である。従来、全体主義体制や権威主義体制等の非民主主義体制を如何に「民主化」するのかに焦点が当てられていた。しかし、一旦、民主化した国が、その後、再び全体主義体制や権威主義体制に戻ることがあるように、「非民主主義体制から民主主義体制へ」という一方向的な傾向が保証されているわけではない。さらに、日本や米国、韓国のように、すでにダールが規定したポリアーキーのための制度的保障である「政治的指導者が民衆の支持(投票)を求めて競争する権利」や「公職への被選挙権」などを満たしている国における代議制民主主義にも問題がないわけではない。つまり、民主主義の「制度」は整っているが民主主義の「機能」については、解明の余地が残されている。したがって、「どのような民主主義が望ましいのか?」を明らかにすることは、政治学における重要な分析対象であり、代議制民主主義のガバナンスを分析する意義がある。また代議制民主主義のガバナンスは国レベルだけでなく自治体レベルにより重層的に形成されるために、自治体レベルの分析することが重要である。

研究代表者はシカゴ大学で博士号審査委員を務めていた20年以上前から Terry Clark シカゴ大学教授が主催する Fiscal Austerity and Urban Innovation (FAUI) プロジェクトに日本チーム代表として加わり、日本の全市の首長・議会議長・財政課長に対する2回の調査を行い、本研究課題の海外共同研究者である FAUI の Clark 教授や Keith Hoggart キングスカレッジロンドン教授等と共同研究に基づく国際共著書を3冊、米国や英国、日本で刊行してきた。またほぼ毎年、FAUI のカンファレンスに招聘され、各国からの研究者と共同研究を進めている。さらに、研究分担者の原田はシカゴ大学で Clark 教授からの指導を受けて Ph.D. を取得している。また、研究代表者はソウル大学 Graduate School of Public Administration (GSPA) 院長である Seung Jong Lee 教授と従来から共同研究を行い共編で国際共著を刊行している。そして、GSPA の研究グループと12年前から共同研究を始め、これまでに2冊の国際共著書を刊行した他、毎年、合同カンファレンスを開催している。

このように、これまで研究代表者が培ってきたシカゴ大学 FAUI プロジェクトやソウル大学 GSPA における米国や韓国の研究者とのネットワークに日本の若手研究者を組み入れ、彼らが共同研究を通して国際共著論文を刊行することを指導することで合意している。具体的には、財政緊張下における市民意識について研究する38か国の研究者からなる FAUI プロジェクトに日本の若手研究者を加えるとともに、GSPA との共同研究を通して国際共著論文の刊行を支援することになるために、本研究課題を開始するものである。

2. 研究の目的

本研究課題は、代議制民主主義におけるガバナンスに関する国際比較を行うことを通して、日本の若手研究者が国際共著論文を刊行することを目的とする。日本・米国・韓国共に政府債務の GDP 比率に示される財政状況が良いとは言えず、特に、地方自治体の中には厳しい状況に置かれているところが少なくない。そうした状況の中で、市民がどのような要因で政治参加をしたり、また選挙でどのような選択を行っているのかをデータに基づいて分析する。日米韓三ヶ国共に自治体レベルでは「首長と議会議員を共に直接選挙で選ぶことで相互の牽制と均衡により首長と議会が緊張関係を保つ」二代表制を採用しているが、現実には首長の権限が強く議会が支持者の意向を首長に取り次ぐ役割に従事している自治体が少なくない。こうした状況の中で有権者の政治意識が変化し、政党支持をもたない無党派層が半数近くに達したり、従来型の選挙運動の効果が薄れて投票率が低下する一方、選挙を通さない条例制定請求や市民活動が増加している。本研究課題では、こうした政治文化の変化(New Political Culture:以下、NPC)に着目し、従来の政治的対立軸とは異なる新しい軸を設定して両軸を組み合わせることで自治体の首長を次の4つのタイプに分類する。A: 伝統的保守主義(社会的保守&財政的保守) B: 伝統的リベラリズム(社会的リベラル&財政的リベラル) C: NPC(社会的リベラル&財政的保守) D: クライエンタリズム(社会的保守&財政的リベラル)。その上で、各自治体における社会経済的地域特性がどのようなタイプの首長の選出に繋がり、それがどのような政策アウトプットをもたらすのかを実証的に解明する。具体的には、(1) NPC 的な社会経済特性を持つ市民(若い世代が多く、専門職に従事している割合が高い)が多い自治体ほど、NPC 的な市長(若く、市民参加に積極的で、政党から距離を置いている市長)が輩出されるのかどうか、(2) NPC 的な市長がいる自治体(若く、市民参加に積極的で、特定の政党から推薦を受けていない市長)ほど、NPC 的な政策(積極的な市民参加手法)を採用しているのかどうか、(3) 財政的に余裕のある自治体ほど、積極的な市民参加手法を採用しているのかどうか、を明らかにする。

さらに、本研究では従来の「首長と議会の関係」に留まらず、市民や職員を含めた分析を行うところに独創性がある。特に、社会経済的变化(GDPの増加、第一次産業の衰退、核家族の増加、結婚年齢の後退)と価値観の変化(個人主義や脱物質主義の増加)による NPC の増加が既成政党への支持の減少をもたらす一方、新しい形態の政治参加が増加しているかどうかを明らかにする。このため本研究課題は、首長と議会関係者に市民や自治体職員を加えて、四者間の関連の構造を解明するところに研究の意義がある。

3. 研究の方法

上記の目的のために、本研究課題では当初計画通りに日本の全ての市・特別区の首長・議長・財政課長を対象（計 2,445 名）とする FAUI 調査を実施し高い回収率（市長・特別区長 49.3%、市議会議員・特別区議会議員 74.7%、財政課長 58.9%）を得た。このデータに基づいて分析を行ない、米国や韓国との国際比較だけでなく、地方分権一括法施行時の同様の調査と比較することで、地方分権一括法がもたらした首長の政治文化の変容としての NPC の実態を明らかにした。さらに、当初計画を超えて FAUI 研究の成果である NPC 首長のタイプが市民の Well-Being にどのような効果をもたらすのかを実証的に明らかにした。具体的には、Well-Being を五つの次元（safety and security、health、wealth、convenience、amenity）に分けて各々の次元をもたらす社会経済的要因を抽出して関連性を解明した。これらの作業を通して従来の FAUI 研究と Amenity 研究を融合して、新たな Well-Being 研究にパラダイムシフトすることを目指した。これら研究代表者及び研究分担者の研究成果を Springer が刊行する国際学術誌等に投稿し、研究代表者による国際共著論文や研究分担者による論文が査読付論文として刊行された。

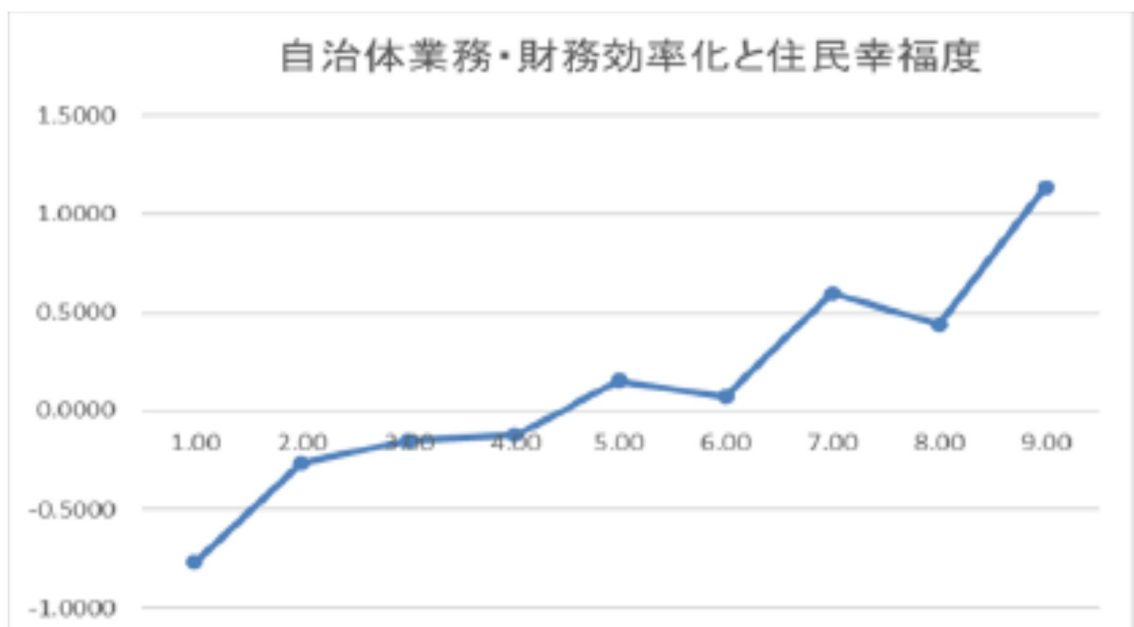
また、当初計画を超えて米国シカゴ大学等との地域文化特性に関する国際共同研究を行った。具体的には、全国に在住有権者対象に市民意識調査を実施して米国やカナダ、スペイン等の研究者を含む国際研究グループに参加して自治体の代議制民主主義に対する住民評価の指標である人口移動に関する地域文化特性の計量分析を行なった。

4. 研究成果

4 - 1 . FAUI (Fiscal Austerity and Urban Innovation) プロジェクトの国際共同研究

シカゴ大学及びソウル大学の二つの海外拠点との FAUI プロジェクトの国際共同研究を行い、当初計画通りに日本の全市・特別区の首長・議長・財政課長を対象とする FAUI 調査を実施し高い回収率を得た。このデータに基づいて分析を行ない、米国や韓国との国際比較だけでなく、地方分権一括法施行時の同様の調査と比較し、地方分権一括法がもたらす首長の政治文化の変容としての NPC の実態を明らかにした。具体的には、同法施行前は財政的リベラルや社会的保守な首長が多かったのに対して、同法施行後の今回の調査では首長の 4 割余が財政的保守でもっとも多く、これに財政的リベラルが続き、財政的中道は 2 割強であった。また、社会的志向では半数弱が社会的中道でもっとも多く、社会的リベラルと社会的保守が約 4 分の 1 余となるなど、NFP (New Fiscal Populist) 首長が多く誕生した。

さらに、当初計画を超えて、住民の Well-Being を 5 つの次元を構成する変数 を主成分分析に投入して析出した。さらに、上記次元を構成する主成分値の累積寄与率が 63% を超えるまでの主成分について、各主成分値と寄与率を乗じた合計スコアを住民の Well-Being とした。そして、自治体業務・財務の効率化に関する 7 つの指標（歳入見込予測、財務情報システム、業務施行の評価、会計・財務報告、管理職の権限、経済動向分析、議会への財務報告）による業務・財務の効率化が進んでいる自治体の住民ほど Well-Being が高いことがわかった（下図参照）。



また、首長の NPC と住民の Well-Being の関連をみると、社会的にはリベラルであるが財政的には中道な首長が望ましいことが明らかになった。経済が右肩上がりであり自治体歳入が増え続けている時代には、財政的にも社会的にもリベラルな首長の自治体が望ましかったこともあるが、新型コロナウイルス感染拡大のような経済低成長の時代においては、社会的にはリベラルであるが財政的には一定の健全度を維持する首長が住民の Well-Being にとっては望ましいことになる。そし

て、首長の財政的志向や社会的志向が住民の Well-Being の各次元とどのように繋がり、さらに住民 Well-Being が平均余命や地域経済とどのように関連をもつのかを構造方程式モデリングを用いて分析した結果、首長の財政的志向は利便性に繋がり、社会的志向は快適度と富裕度に関連していることが明らかになった。そして、快適度は富裕度と安心度に繋がり、利便性は快適度に関連していることもわかった。さらに、快適度と富裕度は男性及び女性の平均余命に繋がり、安心度は男性の平均余命に関連をもっている。そして、快適度と富裕度、安心度は地域別 GDP に関連することも明らかになった。

これらの作業を通して、従来の FAUI 研究と Amenity 研究を融合して新たな Well-Being 研究にパラダイムシフトすることを目指した。これら研究代表者及び研究分担者の研究成果を国際学術誌に投稿し、研究代表者と研究分担者全員の論文が査読付論文として多くの国際学術誌に掲載された。

4 - 2 . 地域文化特性の国際共同研究

また、当初計画を超えてシカゴ大学やトロント大学、パブロ・デ・オラビデ大学等の研究者との地域文化特性に関する国際共同研究を行った。具体的には、市民意識調査を全国在住有権者対象に実施して国際研究グループに参加して自治体の代議制民主主義に対する住民評価の指標である人口移動に関する地域文化特性の計量分析を行なった。

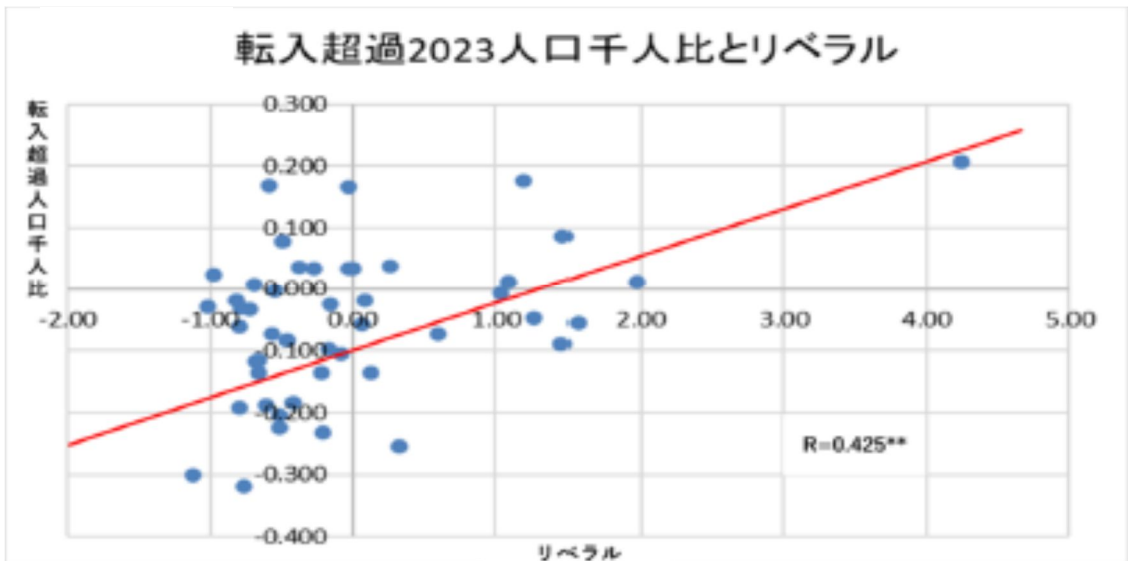
Albert Otto Hirschman によれば、人々が組織に不満がある時、不満を組織に伝える「抗議」をするか、組織から離れて「退出」をすることになる。これを自治体に当てはめると、自分が住んでいる自治体の施策や住環境に不満がある時、前者であれば自治体に苦情を伝えたり、次回の首長選挙で現職以外の候補者に投票することになる。しかし、長年、苦情を申し立てても変化がなければ、後者による他自治体への転居という「足による投票」を行なうことになる。そこで、人口千人あたり転出入超過と一人当り GDP の関連をみると、 $r=0.086$ と統計的に有意な関連がなく、地域の経済力だけで人が集まってくるわけではないことが明らかになった。このため、人が住みたいと思う自治体の魅力づくりが重要であることから地域文化特性を研究する意義がある。つまり、地域文化特性と社会経済変数は密接な関係にあることになる。

このことから、本研究課題では各自治体の地域文化特性に関する 72 変数を収集して 16 次元を構成して地域文化特性と社会経済変数の関係をみると、「エスニック」「ブランド重視」「逸脱的」「魅惑的」「顕示的」な地域文化特性が強い地域における一人当たり GDP が高くなっていることが明らかになった。また、「エスニック」「ブランド重視」の地域文化特性が高い地域で一人当たり県民所得が高く、「国家重視」や「自然重視」の地域では一人当たり県民所得が低くなっている。さらに、「魅惑的」「功利主義」「フォーマル」「ブランド重視」「平等主義」な特性が強い地域の財政力指数が高く、「国家重視」「自然重視」「合理性重視」の地域文化特性が高いで財政力指数が低くなっていることが明らかになった。

ここで、人口千人あたり転出入超過と地域文化特性の関連をみると、「顕示的」「ブランド重視」「功利主義」「魅惑的」な地域文化特性が高いところで、転入超過とのプラスの関連がみられる一方で、「国家重視」や「合理性重視」といった地域文化特性が高い地域ではマイナスの関連がみられることが明らかになった。そして、人口千人あたり転出入超過を従属変数とし、一人当たり県民所得や 16 次元の地域文化特性を独立変数とする重回帰分析を行なったところ、「国家重視」が統計的に優位でマイナスの関連を示していることが明らかになった。その一方で、「フォーマル」「功利主義」「魅惑的」な特性が強い地域では人口千人当り刑法犯認知件数が高く、「国家重視」「合理性重視」「自然重視」な特性が強い地域では同件数が低いことがわかった。

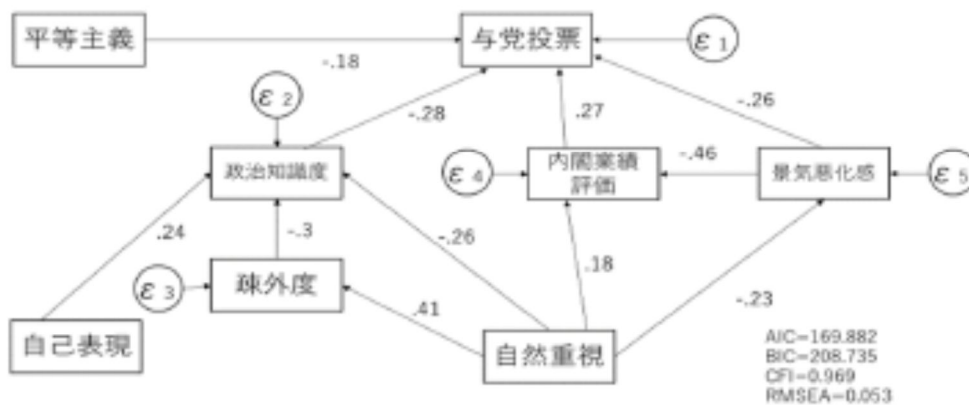
さらに、地域文化特性による主成分分析を行って析出された 3 主成分と社会経済変数の関連をみると、第一主成分である「リベラル」な地域では一人当たり GDP や一人当たり県民所得、財政力指数が高い一方で、第二主成分である「シリアス」な地域では、一人当たり GDP が高いものの、財政力指数が低いことが明らかになった。そして人口千人あたり転出入超過を従属変数とし、地域文化特性から析出された主成分を独立変数とする重回帰分析を行なったところ、「リベラル」な軸がプラスで有意な結果となった(下図参照)。つまり、「リベラル」な地域文化特性を持つ地域に人が集まり、転入超過がみられるわけである。これに対して、「シリアス」や第三主成分の「トラディショナル」は転入超過とは統計的に優位な関係が見られないことがわかった。

また、地域文化特性 16 次元を変数とするクラスター分析(階層的クラスター Ward 法)を行なった結果、5 つに分類されたクラスター別に社会経済変数をみると、クラスター 1 の「都市圏」では一人当たり GDP が低い一方で、財政力指数が高い特徴がみられた。そして、クラスター 2 の「地方圏」では、一人当たり GDP、県民所得、財政力指数がいずれも低いことがわかった。クラスター 3 の「準都市圏」では、全体的に平均的な経済変数の値を示しており、クラスター 4 の「大都市圏」では、一人当たり GDP、県民所得、財政力指数がいずれも高く、クラスター 5 の「農村圏」では財政力指数が低くなっていることが明らかになった。



ここで、与党に対する投票を最終的な従属変数とする構造方程式モデリングを行ったところ、「自己表現」の文化特性をもつ地域では政治知識度が高い一方で、「自然重視」の文化特性の地域では政治知識度が低く疎外度が高いことが明らかになった。また、「自然重視」の地域では内閣に対する業績評価が低い一方で、景気に対する悪化感は薄れている。そして、景気に対する悪化感が低い地域ほど内閣業績に対する評価が高く、内閣業績を評価する地域や景気が良いと思う地域では与党に対する投票が相対的に多くなっている。その一方で、政治知識度が高い住民が多い地域では与党に投票する割合が低く、また、「平等主義的」な地域文化特性が強い地域でも与党に投票する割合が低くなっている(下図参照)。この構造方程式モデリングの結果は、AICが169.882、BICが208.735であるとともに、CFIが0.969と高いことから、一定の説明力を持つと考えることができる。

地域文化特性と参院選投票行動: 構造方程式モデリング



このように、従来の政治学では十分に説明できなかった人口転出入や政治意識、選挙結果の決定要因を補足するために、欧米や東アジアの研究者達との国際共同研究により地域文化特性を日本に適用して分析し、有益な知見を得ることができた。

なお、本研究課題ではシカゴ大学の Terry Clark 教授を交えた国際カンファレンスを共同開催し、本研究課題の研究代表者及び研究分担者の全員が報告して活発な討議を行なった。またソウル大学の Soon Eun Kim 教授や Seung Jong Lee 教授、Tobin Im 教授をはじめ研究者達とも国際カンファレンスを3回、共同開催し、本研究課題側とGSPA側の双方から多くの研究報告を行ない、自治体ガバナンスに関する熱心な議論を交わした。さらに、韓国選挙学会及び台湾国立政治大学との International Conference of Asian Electoral Studies (AES) を毎年、計5回共同開催するとともに、当初計画を超えて延世大学行政学大学院からの申し入れにより国際シンポジウムを共同開催して、双方の研究者による報告と質疑応答を行なった。これらを通して、研究代表者がこれまで培ってきた米国や韓国等の研究者とのネットワークに日本の若手研究者を組み入れ、もう一人のメンターである飯田と共に指導し、研究代表者及び研究分担者・研究協力者全員が国際学術誌に数多くの査読付論文を掲載すると共に、日本の若手研究者をシカゴ大学やソウル大学、韓国選挙学会、台湾国立政治大学等との国際研究ネットワークに組み入れて期待を超える成果を挙げることができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計108件（うち査読付論文 35件 / うち国際共著 4件 / うちオープンアクセス 33件）

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 75巻4号
2. 論文標題 2021年衆議院選挙にみる有権者意識	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 全国都道府県選挙管理委員会連合会『月刊選挙』	6. 最初と最後の頁 3-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、岸洋子	4. 巻 815
2. 論文標題 やまなしグリーン・ゾーン構想	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『地方財務』	6. 最初と最後の頁 170-186
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、岸洋子	4. 巻 817
2. 論文標題 公立大学法人化	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『地方財務』	6. 最初と最後の頁 157-171
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 201
2. 論文標題 22年参院選に見る有権者の投票行動分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『公明』	6. 最初と最後の頁 6-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、岸洋子	4. 巻 819
2. 論文標題 産地偽装への対応	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『地方財務』	6. 最初と最後の頁 182-198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 75巻10号
2. 論文標題 2022年参議院院選挙にみる有権者意識	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 全国都道府県選挙管理委員会連合会『月刊選挙』	6. 最初と最後の頁 3-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、岸洋子	4. 巻 821
2. 論文標題 官民連携による身寄りのない高齢者支援	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『地方財務』	6. 最初と最後の頁 173-186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、岸洋子	4. 巻 823
2. 論文標題 幸福度：独自指標による強みや課題の見える化	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『地方財務』	6. 最初と最後の頁 223-235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 -
2. 論文標題 令和5年2月ガバナンス調査結果	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 報告書	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、岸洋子	4. 巻 825
2. 論文標題 里親委託の推進	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『地方財務』	6. 最初と最後の頁 188-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Iida, Jaehyun Song, Jose Luis Estrada, and Yuriko Takahashi	4. 巻 -
2. 論文標題 Fake news and its electoral consequences: a survey experiment on Mexico	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 AI & Society	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00146-022-01541-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Jaehyun Song, Takeshi Iida, Yuriko Takahashi, and Jesus Tovar	4. 巻 55(4)
2. 論文標題 Buying Votes across Borders? A List Experiment on Mexican Immigrants in the United States	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Canadian Journal of Political Science	6. 最初と最後の頁 852-872
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0008423922000567	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Toshiki Maeda, Takumi Nishi, Masataka Harada, Kozo Tanno, Naoyuki Nishiya, Kei Asayama, Nagako Okuda, Daisuke Sugiyama, Hiroshi Yatsuya, Akira Okayama, Hisatomi Arima	4. 巻 101
2. 論文標題 Influence of the COVID-19 pandemic on regular clinic visits and medication prescriptions among people with diabetes; retrospective cohort analysis of health care claims	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Medicine	6. 最初と最後の頁 e29458 ~ e29458
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000029458	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masataka Harada, Tetsuya Matsubayashi	4. 巻 -
2. 論文標題 Intergovernmental transfers as magnets for low-income people	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Applied Economics Letters	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504851.2022.2139801	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuichi Kubota, Gaku Ito, and Masataka Harada	4. 巻 -
2. 論文標題 Making Sense of Violence in Semi-Technologized Conventional Civil War: Evidence from Nineteenth-Century Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Interactions	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03050629.2023.2180501	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuta Kamahara	4. 巻 79号
2. 論文標題 Public Health in the Aftermath of Civil War: A Spatial Time-Series Cross-Sectional Analysis	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 公共選択	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuta Kamahara	4. 巻 9
2. 論文標題 The Malapportionment-Generating Process in Latin America: A Decomposition Analysis of Electoral Inequality in Argentina, Brazil, and Chile	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 常盤台人間文化論叢	6. 最初と最後の頁 53-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18880/00015179	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 築山宏樹・宮田愛永	4. 巻 78
2. 論文標題 最高裁裁判官国民審査の投票行動のメカニズム 都道府県・裁判官データによる実証分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 公共選択	6. 最初と最後の頁 54-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 築山宏樹	4. 巻 96(2)
2. 論文標題 地方政府の長の生存分析 首長・議会関係と政権安定性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 法学研究	6. 最初と最後の頁 97-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Martha Frish, Terry Nichols Clark	4. 巻 -
2. 論文標題 River Scenes: How Rivers Contribute to More Vibrant Urban Communities	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Planetizen	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Soon Eun Kim	4. 巻 335
2. 論文標題 Background and Validity of Special Autonomous Province in Korea	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Local Government Review	6. 最初と最後の頁 22-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・岸洋子	4. 巻 第803号
2. 論文標題 全国市および特別区財政課長の財政意識	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 189-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshiaki Kobayashi & Sangjoon Kim	4. 巻 -
2. 論文標題 Rethinking Political Wellbeing in Representational Democracy in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Community Well-Being, Springer	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42413-021-00127-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 小林良彰・岸洋子	4. 巻 第805号
2. 論文標題 全国市および特別区長の意識と住民幸福度	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 154-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・岸洋子	4. 巻 第807号
2. 論文標題 全国市議会議長および特別区議会議長の意識	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 145-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・岸洋子	4. 巻 第809号
2. 論文標題 東京都議会議員選挙にみる有権者意識	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 163-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 第193号
2. 論文標題 21年衆院選結果分析と今後の政治	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 公明	6. 最初と最後の頁 8-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・岸洋子	4. 巻 第811号
2. 論文標題 移住・定住促進施策－福井市の取り組み(上)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 139-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・岸洋子	4. 巻 第813号
2. 論文標題 移住・定住促進施策－福井市の取り組み（下）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 169-181
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 1
2. 論文標題 令和3年6月ガバナンス調査結果	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 報告書	6. 最初と最後の頁 1-55
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 2
2. 論文標題 令和4年2月ガバナンス調査結果	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 報告書	6. 最初と最後の頁 1-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田健	4. 巻 1
2. 論文標題 2016 年における予測の失敗と2020年大統領選挙	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本国際問題研究所令和2年度米国研究会研究報告書『国際秩序の動揺と米国のグローバル・リーダーシップの行方』	6. 最初と最後の頁 17-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Ikuma Ogura, Hirofumi Miwa, and Takeshi Iida	4. 巻 -
2. 論文標題 What Do You Mean by 'Democrat' and 'Republican'? Evidence from a Conjoint Experiment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Public Opinion Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ijpor/edab025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuta Kamahara, Junichiro Wada, Yuko Kasuya	4. 巻 71
2. 論文標題 Malapportionment in space and time: Decompose it!	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Electoral Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.electstud.2021.102301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masataka Harada, Takumi Nishi, Toshiki Maeda, Kozo Tanno, Naoyuki Nishiya, Hisatomi Arima	4. 巻 16
2. 論文標題 How do Patients with Chronic Illnesses Respond to a Public Health Crisis? Evidence from diabetic patients in Japan during the COVID-19 pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 SSM - Population Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ssmph.2021.100961	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masataka Harada, Daniel M. Smith	4. 巻 2
2. 論文標題 Distributive Politics and Crime	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Political Institutions and Political Economy	6. 最初と最後の頁 453-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1561/113.00000045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masataka Harada	4. 巻 -
2. 論文標題 War Violence Decreases Long-Term Human Well-Being: The Evidence from the Strategic Bombing to Japan During WWII	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Community Well-Being	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42413-022-00164-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Soon Eun Kim	4. 巻 35(4)
2. 論文標題 Outputs and Tasks of Decentralization in Moon Jae-in's Administration	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Review of Local Public Administration	6. 最初と最後の頁 3-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Soon Eun Kim	4. 巻 190
2. 論文標題 Development and Cooperation of Upper-tier Local Government	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Monthly Public Policy	6. 最初と最後の頁 11-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Soon Eun Kim	4. 巻 195
2. 論文標題 Effects, Implications and Developmental Directions of Comprehensive Reform of Local Autonomy Act	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Monthly Public Policy	6. 最初と最後の頁 14-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中谷美穂	4. 巻 112号
2. 論文標題 どのような意思決定過程を公正とみなすか：性差に注目して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 明治学院大学『法学研究』	6. 最初と最後の頁 97-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miho Nakatani	4. 巻 -
2. 論文標題 How do political decision-making processes affect the acceptability of decisions? Results from a survey experiment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Political Science Review	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0192512121998250	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 コロナ禍における一般質問の中止/監査委員の選任	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 政務活動費による広報費の支出	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 委員会で可決された附帯決議の取り扱い/意見書・請願に対する附帯決議	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 議員報酬の引き上げと予算措置/違法議決に対する議会の訴えの提起	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 政務活動費による広報費の支出	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 取り消し対象発言に対する会議録原本の開示請求に対する対応	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 議員報酬減額の是非	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 任期開始時における政務活動費の支出/オンライン参考人の是非	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 政務活動費による広報費の支出	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・岸洋子	4. 巻 791
2. 論文標題 世田谷区におけるひとり親家庭への支援策(上)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 207-224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・岸洋子	4. 巻 793
2. 論文標題 世田谷区におけるひとり親家庭への支援策（下）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 161-175
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・黄璋	4. 巻 795
2. 論文標題 中国における介護政策の現状と課題（上）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 179-191
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・黄璋	4. 巻 797
2. 論文標題 中国における介護政策の現状と課題（下）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 186-195
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・李茉	4. 巻 799
2. 論文標題 中国医療政策が高齢者健康状態に与える影響（上）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 162-174
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰・李茉	4. 巻 801
2. 論文標題 中国医療政策が高齢者健康状態に与える影響(下)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 263-280
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim, Soon Eun	4. 巻 177
2. 論文標題 Autonomy Decentralization Performance and Challenges of the Moon Jae-in Administration	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Monthly Public Policy	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim, Soon Eun	4. 巻 183
2. 論文標題 The beginning of the era of Autonomy Decentralization 2.0	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Monthly Public Policy	6. 最初と最後の頁 14-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim, Soon Eun	4. 巻 5
2. 論文標題 The Significance of all revised Local Autonomy Act	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Local Parliamentary Politics Brief	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 2020.6.10号
2. 論文標題 選挙管理委員の選挙	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 2020.8.11号
2. 論文標題 長に対する不信任議決/議長の議員辞職の取扱い	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 2020.9.10号
2. 論文標題 陳情の取扱いについて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 2020.11.10号
2. 論文標題 一般質問における除斥について/外交問題に関する意見書の提出	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 2021.1.15号
2. 論文標題 懲罰に対する司法審査の是非/棄権	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 廣瀬和彦	4. 巻 2021.3.10号
2. 論文標題 物品の無償譲渡について/新型コロナウイルスに係る本会議の傍聴拒否	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 議員NAVI	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 第92巻第4号
2. 論文標題 社会意識に関する異なる調査方法比較-インターネット調査と面接調査の比較検討-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法学研究	6. 最初と最後の頁 pp.1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、廣瀬和彦	4. 巻 第779号
2. 論文標題 自治体施策と住みやすさ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.132-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、廣瀬和彦	4. 巻 第781号
2. 論文標題 財政健全化のための自治体施策	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.132-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、廣瀬和彦	4. 巻 第783号
2. 論文標題 待機児童解消のための自治体施策	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.137-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、廣瀬和彦	4. 巻 第785号
2. 論文標題 観光行政にかかる自治体施策	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.185-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、岸洋子	4. 巻 第787号
2. 論文標題 自治体広報活動とふるさと納税	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.143-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、岸洋子	4. 巻 第789号
2. 論文標題 地場産業ブランド化支援の経済効果	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.151-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田健	4. 巻 681
2. 論文標題 トランプ支持者再考：通説と実証研究との乖離	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 pp.6-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Iida	4. 巻 30
2. 論文標題 Citizens' Constitutional Knowledge and American Representative Democracy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Japanese Journal of American Studies	6. 最初と最後の頁 pp.53-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田健・池田謙一・西澤由隆・松林哲也	4. 巻 17
2. 論文標題 地図抽出による確率標本に対するインターネット調査：回答率の決定要因と調査モード間の比較	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 政策と調査	6. 最初と最後の頁 pp.13-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鎌原勇太	4. 巻 93巻1号
2. 論文標題 代表の不等 (Unequal Representation) に関する新たな概念と指標の可能性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 法学研究	6. 最初と最後の頁 pp.419-444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yang, Eunjin; Kim, Soon Eun; Kim, Myoung-il	4. 巻 71(2)
2. 論文標題 A study of Aging Anxiety type and Life Satisfaction among Korean Elderly	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Korean Journal of Social Welfare	6. 最初と最後の頁 pp.91-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yang, Eunjin; Kim, Sujee; Kim, Soon Eun	4. 巻 31(2)
2. 論文標題 A Study of Relationship between Parent-Child Solidarity, Loneliness, and Life Satisfaction: Comparative Analysis of Elderly Living in Urban and Rural Communities	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of local government studies	6. 最初と最後の頁 pp.135-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kim, Myoung-il, Eo, Yugyeong; Kim, Soon Eun	4. 巻 39(2)
2. 論文標題 A Study of Depression in the Elderly by Individual and Community Effects	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Health and Social Welfare review	6. 最初と最後の頁 pp.192-221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kim, Sujee; Kim, Soon Eun	4. 巻 10(3)
2. 論文標題 The Relationship Among Solidarity with Adult Children and Neighbors, Loneliness, and Self-neglect	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Humanities and Social science (HSS21)	6. 最初と最後の頁 pp.1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hwang, Sunyoung; Eo, Yugyeong; Kim, Soon Eun	4. 巻 33(2)
2. 論文標題 A Study on the Influence of Social Exclusion on Cognitive Social Capital from the Perspective of Social Cohesion: The Moderating Effect of Generation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Korean Journal of Local Government & Administration Studies	6. 最初と最後の頁 pp.31-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kwon, Eunju; Kim, Soon Eun	4. 巻 31(2)
2. 論文標題 Explaining Levels of Invalid Votes with Four Theoretical Models: Analysis of the 19th Korean Presidential Election Outcomes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of local government studies	6. 最初と最後の頁 pp.353-375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kim, Sujee; Kwon, Eunju; Lee, Jangbum; Kim, Soon Eun	4. 巻 39(3)
2. 論文標題 Aging Anxiety and Self-Neglect among Older Adults Living in Urban and Rural Communities: The Moderating Effect of Family and Social Support	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Health and Social Welfare review	6. 最初と最後の頁 pp.9-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 築山宏樹	4. 巻 110号
2. 論文標題 地方議会選挙の無投票当選の要因 市町村議会議員選挙データに基づく実証的検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 pp.15-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 築山宏樹	4. 巻 93巻1号
2. 論文標題 地方議会の議員報酬の規定要因-市区町村議会データに基づく実証的検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 法学研究	6. 最初と最後の頁 pp.283-305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshiaki Kobayashi	4. 巻 vol.91, no.4
2. 論文標題 Malapportionment causes Malfunctioning Democracy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Law, Politics and Sociology	6. 最初と最後の頁 pp.106-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、黄璋	4. 巻 第767号
2. 論文標題 中国における介護保険制度(上)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.164-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、黄璋	4. 巻 第769号
2. 論文標題 中国における介護保険制度（下）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.174-182
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 2018年7月号
2. 論文標題 社会科学データ・アーカイブの開発	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 pp.56-72
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰	4. 巻 第91巻8号
2. 論文標題 投票制度改革及び選挙制度改革	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法学研究	6. 最初と最後の頁 pp.1-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、黄璋	4. 巻 第771号
2. 論文標題 中国の財政地域格差と調整制度	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.151-166
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、黄璋	4. 巻 第773号
2. 論文標題 中国の高齢者福祉制度改革の提言	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.172-186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、黄璋	4. 巻 第775号
2. 論文標題 中国における貧困撲滅対策	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.150-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林良彰、黄璋	4. 巻 第777号
2. 論文標題 中国の社会福祉制度改革への提言	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地方財務	6. 最初と最後の頁 pp.196-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯田健	4. 巻 20
2. 論文標題 格差、治安、再分配支持：国家間のマルチレベル分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本比較政治学会年報	6. 最初と最後の頁 pp.29-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Iida	4. 巻 4
2. 論文標題 Media Coverage and the Association between Japanese Perceptions of South Korea and North Korea.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Japanese Political Science Review	6. 最初と最後の頁 1-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15544/2018005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 飯田健	4. 巻 2018-11
2. 論文標題 政党の争点立場認知と投票後悔：2016年参院選における護憲派による改憲勢力への投票	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 年報政治学	6. 最初と最後の頁 pp.60-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Junichiro Wada, Yuta Kamahara	4. 巻 93
2. 論文標題 Studying malapportionment using β -divergence	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mathematical Social Sciences	6. 最初と最後の頁 pp.77-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mathsocsci.2018.02.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田勝孝	4. 巻 70
2. 論文標題 観測不能な交絡因子に対する感度分析について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 公共選択	6. 最初と最後の頁 pp.24-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷口将紀、金子智樹、高宮秀典、築山宏樹、淺野良成、川口航史	4. 巻 131巻9・10号
2. 論文標題 2017年東京大学谷口研究室・朝日新聞共同調査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国家学会雑誌	6. 最初と最後の頁 pp.51-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Junpyo Kim, Soon Eun Kim	4. 巻 45
2. 論文標題 A Study of Social Capital Patterns and Loneliness of the Elderly in Rural Areas	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Korean Social Science Journal	6. 最初と最後の頁 pp.79-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Junpyo Kim, Soon Eun Kim	4. 巻 29(3)
2. 論文標題 Single Elderly's Social Capital and Life Satisfaction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Social Science Studies	6. 最初と最後の頁 pp.267-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.16881/jss.2018.07.29.3.267	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Junpyo Kim, Soon Eun Kim	4. 巻 38(3)
2. 論文標題 A Relationship between Elderly's Attitudes towards to Ageing and Life-satisfaction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of the Korea Gerontological Society	6. 最初と最後の頁 pp.521-536
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31888/JKGS.2018.38.3.521	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Eun Joo Kwon, Il Yun, Soon Eun Kim	4. 巻 38(3)
2. 論文標題 Gender Differences in Self-neglect in the South Korea	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of the Korea Gerontological Society	6. 最初と最後の頁 pp.627-643
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31888/JKGS.2018.38.3.627	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yugyeong Eo, Soon Eun Kim	4. 巻 73(4)
2. 論文標題 The Effect of Solidarity with Adult Children on the Elderly's Decision about the Medical Care for Life Prolongation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Korean Journal of Gerontological Social Welfare	6. 最初と最後の頁 pp.303-331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sujee Kim, Soon Eun Kim	4. 巻 39
2. 論文標題 Loneliness and death anxiety among older adults living in urban and rural communities: The moderating effect of social capital	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Korean Gerontological Society	6. 最初と最後の頁 pp.127-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31888/JKGS.2019.39.1.127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Myoung-il Kim, Soon Eun Kim	4. 巻 39(1)
2. 論文標題 Types of Solidarity between Parents and Children and Life Satisfaction of Old Adults: Focusing on Comparison between Urban and Rural Area	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Korean Gerontological Society	6. 最初と最後の頁 pp.145-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31888/JKGS.2019.39.1.145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計84件（うち招待講演 12件 / うち国際学会 47件）

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 代議制民主主義の機能の測定
3. 学会等名 日本政治学会2021年度研究大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshiaki Kobayashi
2. 発表標題 Political Attitudes and Electoral Behavior in Japan
3. 学会等名 Academic Conference of Dongseo University（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshiaki Kobayashi
2. 発表標題 FAUI survey in Japan- Well-Being and New Political Culture
3. 学会等名 International Conference of Political Science（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshiaki Kobayashi
2. 発表標題 Quality of Democracy
3. 学会等名 International Conference of Political Science（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 2021年衆院選における有権者意識
3. 学会等名 日本学術会議政治学委員会公開シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 社会科学における研究DXと地域データ・アーカイブの構築
3. 学会等名 慶應義塾大学大学院SDM研究科パブリックシステム・ラボ・カンファレンス（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masaki Hata, Takeshi Iida, Yasuhiro Izumikawa, and Tongfi Kim
2. 発表標題 Did Trump's Hardline Posture Reassure the Public in Japan?: Evidence from a Quasi-Natural Experiment.
3. 学会等名 the 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies, Ghent, Belgium（国際学会）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 飯田健
2. 発表標題 The Impact of the COVID-19 Pandemic on the Policy Preferences of the U.S. Public.
3. 学会等名 日本政治学会2021年度研究大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuta Kamahara
2. 発表標題 Who Is Counted? The Debate on the (In)Different Selection of the Population Figure in Measuring Malapportionment
3. 学会等名 Asian Electoral Studies (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鎌原勇太
2. 発表標題 「一人一票」の「一人」とは誰なのか? 議員定数不均衡指標から考察する選挙区人口に関する理論的・実証的考察
3. 学会等名 東アジア日本研究者協議会 (East Asian Consortium of Japanese Studies) 第5回国際学術大会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuta Kamahara, Junichiro Wada
2. 発表標題 Who Is Counted? The Debate on the (In)Different Selection of the Population Figure in Measuring Malapportionment
3. 学会等名 2022 Winter Meeting, Japanese Society for Quantitative Political Science
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuta Kamahara
2. 発表標題 Fair Election as Probatio Diabolica? A Geometric Interpretation of Digit-Based Election Forensics
3. 学会等名 International Symposium of Public Administration and Democracy (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hi roki Tsukiyama
2. 発表標題 Incumbent Reelection and Fiscal Performance
3. 学会等名 International Symposium of Politics and Local Governance (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 築山宏樹
2. 発表標題 女性政治家の選出は民主主義に対する政治的態度に影響するか？
3. 学会等名 日本政治学会2021年度研究大会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 築山宏樹
2. 発表標題 An Analysis of the 2021 Japanese General Election
3. 学会等名 慶應義塾大学-延世大学政治学科定期学術交流会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hi roki Tsukiyama
2. 発表標題 Incumbent Reelection and Fiscal Performance
3. 学会等名 International Conference of Political Science (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroki Tsukiyama
2. 発表標題 Incumbent Reelection and Fiscal Performance
3. 学会等名 International Symposium of Public Administration and Democracy (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masataka Harada
2. 発表標題 Brief review of the legacy of war violence: the case of the bombing of Tokyo
3. 学会等名 International Symposium of Politics and Local Governance (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masataka Harada, Gaku Ito and Daniel M. Smith
2. 発表標題 Destruction from Above: Long-Term Legacies of the Tokyo Air Raids with some results from Using cell-phone mobility data to study voter turnout
3. 学会等名 ISER Seminar Series at Osaka University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masataka Harada, Gaku Ito and Daniel M. Smith
2. 発表標題 Using cell-phone mobility data to study voter turnout
3. 学会等名 Annual meeting of Japanese Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masataka Harada, Gaku Ito and Daniel M. Smith
2. 発表標題 Using cell-phone mobility data to study voter turnout
3. 学会等名 2021 Asian Electoral Studies Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masataka Harada, Gaku Ito and Daniel M. Smith
2. 発表標題 Using cell-phone mobility data to study voter turnout
3. 学会等名 Annual Conference of American Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masataka Harada, Gaku Ito and Daniel M. Smith
2. 発表標題 Using cell-phone mobility data to study voter turnout
3. 学会等名 International Conference of Political Science (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masataka Harada, Gaku Ito and Daniel M. Smith
2. 発表標題 Using cell-phone mobility data to study voter turnout
3. 学会等名 The 2022 Winter Meeting of the Japanese Society for Quantitative Political Science (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masataka Harada, Gaku Ito and Daniel M. Smith
2. 発表標題 Using cell-phone mobility data to study voter turnout
3. 学会等名 International Symposium of Public Administration and Democracy (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 Definition and Features of Autonomy Decentralization 2.0
3. 学会等名 Winter Conference of Korean Association for Local Government Studies
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中谷美穂
2. 発表標題 どのような意思決定過程を公正とみなすか：性差に注目して
3. 学会等名 日本政治学会2021年度研究大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 飯田健
2. 発表標題 世代・支持政党による有権者のイデオロギー理解の違い
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 飯田健
2. 発表標題 Does a Patron State's Hardline Posture Reassure the Public in an Allied State?
3. 学会等名 日本国際政治学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kyosuke Kikuta and Yuta Kamahara
2. 発表標題 Environmental Protection after Civil War: A Difference-in-Geographic-Discontinuity Approach
3. 学会等名 Asian Online Political Science Seminar Series (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kim, Soon Eun
2. 発表標題 The significance and main contents of the Moon Jae-in government's Autonomy Decentralization
3. 学会等名 Winter Conference of Korean Association for Local Government Studies (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 サーベイデータによる日本の社会意識の分析：面接調査に代替するインターネット調査方法の開発
3. 学会等名 日本政治学会研究大会報告
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 社会科学におけるデータ・アーカイブの構築
3. 学会等名 内閣府日本学術会議オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会報告（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 政治分野における男女共同参画の要因と効果
3. 学会等名 内閣府日本学術会議政治学委員会政治過程分科会公開シンポジウム「政治への「参画障壁」をいかに乗り越えるか」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 データ・アーカイブ構築と社会科学のパラダイムシフト
3. 学会等名 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科報告（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takeshi Iida, Jaehyun Song, Jesus Tovar, and Yuriko Takahashi
2. 発表標題 Buying Votes across Borders?: A Survey Experiment on Mexican Immigrants in the US
3. 学会等名 American Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飯田健・池田謙一・西澤由隆・松林哲也
2. 発表標題 地図抽出による確率標本に対するネット調査：誰が調査に協力するのか
3. 学会等名 第9回世論・選挙調査研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaki Hata, Takeshi Iida, Yasuhiro Izumikawa, and Tongfi Kim
2. 発表標題 Does a Patron State's Hardline Posture Reassure the Public in an Allied State?: Evidence from a Pre-designed Natural Experiment
3. 学会等名 Australian Society for Quantitative Political Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuta KAMAHARA
2. 発表標題 Who Redistricts Determines How It Redistricts
3. 学会等名 115th American Political Science Association's Annual Meeting & Exhibition (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuta KAMAHARA
2. 発表標題 Public Health in the Aftermath of Civil War: A Spatial Time-Series-Cross-Sectional Analysis
3. 学会等名 Joint Conference between GSPA, Seoul National University and PSICR, Japan (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Lee, Jangbum; Kim, Sun Eun
2. 発表標題 A Study of the Perception types for South Korean Millennials about Elderly Support and its Characteristic A Q-Methodology Application
3. 学会等名 2019 ISSSS (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 築山宏樹
2. 発表標題 自書式投票制度の効果 記号式投票・電子投票との比較から
3. 学会等名 日本公共政策学会関西支部第60回例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hi roki Tsukiyama
2. 発表標題 Electoral Systems and Incumbency Advantage: Evidence from Local Elections in Japan
3. 学会等名 International Symposium on Social Sciences of Yonsei and Keio University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hi roki Tsukiyama
2. 発表標題 Electoral Systems and Incumbency Advantage: Evidence from Local Elections in Japan
3. 学会等名 The 2019 General Conference of the European Consortium for Political Research (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Tsukiyama
2. 発表標題 Electoral Systems and Incumbency Advantage: Evidence from Local Elections in Japan
3. 学会等名 Joint Conference between GSPA, Seoul National University and PSICR, Japan (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 Quality of Democracy-Is Democracy Working in Developed Countries?
3. 学会等名 日本政治学会現代政治過程フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 日本とアジアの大学改革
3. 学会等名 日本政治学会日本政治過程研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 社会科学データ・アーカイブの構築
3. 学会等名 日本学術振興会「データ基盤の整備による日本の社会科学振興 人文科学・社会科学データインフラストラクチャー構築をめざして」シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 Malfunctioning Democracy
3. 学会等名 日本政治学会日本政治過程研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 代議制民主主義の「質」の比較研究
3. 学会等名 明治大学大学院政治経済研究科招聘講演（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshiaki Kobayashi
2. 発表標題 Quality of Democracy
3. 学会等名 International Symposium of Electoral Studies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshiaki Kobayahi, Yuta Kamahara
2. 発表標題 Changing Legislature, Changing Politics Quotas, Electoral Systems, and Political Representation
3. 学会等名 The 2018 Asian Electoral Studies Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshiaki Kobayashi
2. 発表標題 Malfunctioning Representative Democracy and Social Welfare
3. 学会等名 廈門大学招聘講演（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 代議制民主主義の機能に関する計量分析
3. 学会等名 公共選択学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 面接調査に代替し得るインターネット調査方法の開発
3. 学会等名 日本政治学会日本政治過程研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林良彰
2. 発表標題 面接調査に代替し得るインターネット調査方法の開発
3. 学会等名 日本放送協会放送文化研究所世論調査部
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshiaki Kobayashi
2. 発表標題 Quality of Governance at national level
3. 学会等名 Joint Conference between GSPA, Seoul National University and PSIC (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takeshi Iida
2. 発表標題 The Alliance Dilemma in the Public Mind: A Survey Experiment in Japan.
3. 学会等名 The World Congress of the International Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飯田健
2. 発表標題 京都市における共産党の支持基盤
3. 学会等名 第3回東アジア日本研究者協議会国際学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takeshi Iida
2. 発表標題 Reference to Great Presidents and Support for Populist Claims in the U.S.
3. 学会等名 The Annual Meeting of the Southern Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuta Kamahara
2. 発表標題 Who Redistricts Determines How It Redistricts: Estimating the Causal Effect of Independent and Effective Delimitation Authority on Malapportionment
3. 学会等名 Annual Meeting of the Midwest Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuta Kamahara
2. 発表標題 A Spatial Analysis of the Environmental Effect of Warfare
3. 学会等名 Annual Meeting of the American Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中島有希大、鎌原勇太、古谷知之、清水唯一朗
2. 発表標題 旧藩の境界と選挙区 その経路依存性と変動に関する分析
3. 学会等名 第27回地理情報システム学会研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鎌原勇太
2. 発表標題 区割機関の独立性と一票の格差
3. 学会等名 公共選択学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuta Kamahara, Yukihiro Nakajima, Tomoyuki Furutani, and Yuichiro Shimizu
2. 発表標題 Feudal Domains and Electoral Districts: A New Method of Quantifying the Path Dependence of Han
3. 学会等名 Asian Political Methodology Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原田勝孝
2. 発表標題 Measuring Destruction from Above: Long-Term Effects of the WWII Air Raid Damages on Contemporary Sociopolitical Activities in Japan (co-author: Gaku Ito)
3. 学会等名 福岡大学先端経済研究センターセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masataka Harada, Gaku Ito
2. 発表標題 Measuring Destruction from Above: Long-Term Effects of the WWII Air Raid Damages on Contemporary Sociopolitical Activities in Japan
3. 学会等名 東京大学ミクロ経済学ワークショップ(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Gaku Ito, Masataka Harada
2. 発表標題 Measuring Destruction from Above: Long-Term Effects of the WWII Air Raid Damages on Contemporary Sociopolitical Activities in Japan
3. 学会等名 Annual conference of American Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masataka Harada
2. 発表標題 Distributive Politics and Crime (co-author: Daniel M. Smith)
3. 学会等名 日本政治学会2018年度研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masataka Harada
2. 発表標題 Measuring Destruction from Above: Long-Term Effects of the WWII Air Raid Damages on Contemporary Sociopolitical Activities in Japan (co-author: Gaku Ito)
3. 学会等名 The 2018 Asian Electoral Studies Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原田勝孝
2. 発表標題 社会科学研究におけるGIS活用事例
3. 学会等名 ESRIジャパンGISコミュニティフォーラム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masataka Harada, Gaku Ito
2. 発表標題 On the Community- and Individual-Level Legacies of Indiscriminate Violence: Evidence from the Bombing of Tokyo in the World War II
3. 学会等名 6th Asian Political Methodology Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masataka Harada
2. 発表標題 On the Community- and Individual-Level Legacies of Indiscriminate Violence: Evidence from the Bombing of Tokyo in the World War II (co-author: Gaku Ito)
3. 学会等名 Joint Conference between GSPA, SNU and PSIC (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 築山宏樹
2. 発表標題 Electoral Systems and Incumbency Advantage: Evidence from Local Elections in Japan
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hi roki Tsukiyama
2. 発表標題 Local Elections and Local Governance
3. 学会等名 Joint Conference between GSPA, SNU and PSIC (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 Comparison between the Status of Welfare Policy for the Elderly and the Perception of the Elderly: Focusing on the Policies for the Old-Old (co-author)
3. 学会等名 The Seminar on the 70th Anniversary of the Graduate School of Public Administration at Seoul National University
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 A Study of Social Capital Patterns and Loneliness of Elderly in Rural Area (co-author)
3. 学会等名 The spring conference held by the Korean Gerontological Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 Gender Differences in Self-neglect in the South Korea (co-author)
3. 学会等名 The spring conference held by the Korean Gerontological Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 A Study of the Perceptions of Legislation on Me Too Movement and its Policy Implications using Q methodology (co-author)
3. 学会等名 2018 ISSSS (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 Philosophical Foundation and Significance of Moon Jae-in Administration 's Autonomy and Decentralization Master Plan
3. 学会等名 The conference co-hosted by the Korean Association for Local Government Studies and Presidential Committee on Autonomy and Decentralization
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 The present situation of Jeju Special Self-governing Province and the direction of development
3. 学会等名 The conference co-hosted by the National Assembly Research Service and Jeju Special Self-Governing Provincial Council
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 Local Crisis or Local Extinction? : the Implications of Local Vitality (co-author)
3. 学会等名 The National Policy conference held by Seoul National University
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 Loneliness and death anxiety among older adults living in urban and rural communities: The moderating effect of social capital (co-author)
3. 学会等名 The conference held by the Korean Gerontological Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Soon Eun Kim
2. 発表標題 Types of Solidarity between Parents and Children and Life Satisfaction of Old Adults: Focusing on comparison between urban and rural area (co-author)
3. 学会等名 The conference held by the Korean Gerontological Society
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計12件

1. 著者名 Soon Eun Kim	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Bumshinsa	5. 総ページ数 228
3. 書名 Municipal Police of Moon Jae-in government (Editor: Presidential Committee on Autonomy and Decentralization)	

1. 著者名 Soon Eun Kim	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Jomyungmoonwhasa	5. 総ページ数 366
3. 書名 System of Local Governments in the future	

1. 著者名 Soon Eun Kim	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Jomyungmoonwhasa	5. 総ページ数 536
3. 書名 "Historical Background and Theoretical Foundation for Decentralization of Moon Jae-in's Administration: A Study of Comprehensive reform of Local Autonomy Act", a book chapter in Decentralization of Moon Jae-in's Administration: Outputs and Implications	

1. 著者名 Soon Eun Kim	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Jomyungmoonwhasa	5. 総ページ数 536
3. 書名 "Autonomy Decentralization Performance and Challenges of the Moon Jae-in Administration", a book chapter in Decentralization of Moon Jae-in's Administration: Outputs and Implications.	

1. 著者名 飯田健、吉野孝編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 253
3. 書名 危機のアメリカ「選挙デモクラシー」	

1. 著者名 飯田健、坂本治也編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 226
3. 書名 ポリティカル・サイエンス入門	

1. 著者名 鎌原勇太、横浜国立大学都市科学部編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 1052
3. 書名 都市科学事典	

1. 著者名 Kim, Juwon; Kwak, Hyon Kun; Kim, Byung-guk; Kim, Soon Eun, Kim, Jungsuk, Kim, Chandong, Kim, Pil-du, Park, Chul, Shin, Yoonchang, Jeon, Yongtae	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Daeyoungmoonwhasa	5. 総ページ数 380
3. 書名 Korean Residents Self-governing Theory and Reality	

1. 著者名 Im, Seungbin; Ahn, Younghun; Kim, Soon Eun; Ahn, Seong-ho; Lee, Kiwu; Jeong, Sunkwan, Ha, Donghyun	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Daeyoungmoonwhasa	5. 総ページ数 359
3. 書名 Local Governments in Korea UK France Germany Japan Spain and Switzerland	

1. 著者名 Park, Soonae; Ko, Kilkon; Kim, Bonghwan; Kim, Soon Eun; Kim, Youngmi; Kim, Junki; Park, Sungmin; Park, Heebong; Eun, Jaeho; Lee, Geunmyun; Lee, Geunju; Lee, Sooyoung; Lee, Changgil; Jeong, Yongduk; Hong, Junhyung	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Moonwoosa	5. 総ページ数 424
3. 書名 Korean Civil Servant Who are They	

1. 著者名 Kim, Sun Eun	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Chomyung Moonwhasa	5. 総ページ数 371
3. 書名 Local Autonomy and Decentralization in Korea	

1. 著者名 Yoshiaki Kobayashi, Yuta Kamahara (Book Editor: Gill Steel)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 University of Michigan Press	5. 総ページ数 275
3. 書名 Beyond the Gender Gap in Japan	

〔産業財産権〕

〔その他〕

平成30年度～令和4年度・文部科学省科学研究費補助金国際共同研究加速基金
 「代議制民主主義のガバナンスの国際比較研究」自治体ガバナンス研究会
<https://localgovernance.wixsite.com/website>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	飯田 健 (Iida Takeshi) (50468873)	同志社大学・法学部・教授 (34310)	研究総括副担
研究分担者	鎌原 勇太 (Kamahara Yuta) (70710268)	横浜国立大学・大学院都市イノベーション研究院・准教授 (12701)	民主主義指標構築
研究分担者	築山 宏樹 (Tsukiyama Hiroki) (60800480)	慶應義塾大学・法学部(三田)・准教授 (32612)	自治体ガバナンス分析
研究分担者	原田 勝孝 (Harada Masataka) (30738810)	福岡大学・経済学部・准教授 (37111)	ガバナンス測定

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計15件

国際研究集会 Academic Conference : Thinking about Japan-Korea Relations	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 The 2021 Asian Electoral Studies International Conference	開催年 2021年～2021年

国際研究集会 International Conference of Political Science	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 International Conference of Democracy and Public Administration	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 Social Sciences at East Asia International Symposium on Social Sciences of Yonsei University and Keio University	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The 2019 Asian Electoral Studies International Conference	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Joint Conference between GSPA, Seoul National University and PSICR	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 International Symposium of Electoral Studies	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 The 2018 Asian Electoral Studies International Conference	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 Joint Conference between Program for Strengthen International Collaborative Research(B), Grants-in-Aid for Scientific Research by Ministry of Education and GSPA, Seoul National University	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The 2020 Asian Electoral Studies International Conference	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 International Conference of Political Science	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 International Conference of Democracy and Public Administration	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 The 2022 International Conference on Election and Democratization Study	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 The 2022 Asian Electoral Studies International Conference	開催年 2022年～2022年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
米国	The University of Chicago			
韓国	Seoul National University	Yonsei University	Dongseo University	他1機関
その他の国・地域	National Chengchi University, Taiwan			